

## ミュージアムタワー京橋「WORK with ART プロジェクト」 ダムタイプによるアート作品《WINDOWS》の続編を公開

株式会社永坂産業（代表取締役 高橋康紀）が所有・管理する「ミュージアムタワー京橋」は、日本を代表するアートコレクティブ、ダムタイプによるアート作品《WINDOWS》の続編を2025年11月1日に、1階オフィスエントランスロビーにて公開いたします。

アートを通じてビジネスパーソンの創造性を刺激する「WORK with ART プロジェクト」の一環として制作された本作は、2024年11月の初公開を起点に、2026年に向けて段階的な再構築を重ねるパブリックアートとして、今後も同プロジェクトとともに発展を続けてまいります。



photo: Kazuo Fukunaga  
写真：福永一夫

### アーティストステートメント

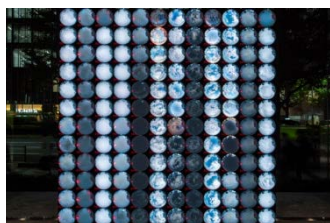
インターネット上の世界各地に偏在するライブカメラ映像をリアルタイムに収集し、独自のアルゴリズムで再構築するインスタレーション《WINDOWS》。「窓」に見立てられた大型のLEDディスプレイに映し出される地球上のさまざまな風景は、プログラミングによって時間と空間が整理・配置された、地表の複眼的な視点で捉えた世界であり、衛星から見る地球の姿とは違った地球の現在の姿を映し出します。

2024年11月から1年にわたって展示されてきた本作品を、2025年11月、新たな映像を加えることによってアップデートし、新しい視点が追加された新バージョンとして展開します。新たに組み込まれた映像は、ミュージアムタワー京橋の屋上から捉えた現在の東京の空。ビル屋上に全天を撮影する超広角レンズカメラを設置し、刻々と変化する雲や天体の動き、光の変化など、空の情景を捉えます。

「窓」の向こう側に無数にある地球上の未知の場所と、作品が設置されている場所＝東京の空とが交差することによって、世界各地の映像を通して地球を感じると同時に、鑑賞者自身がいる場所もその風景に含まれているということに気づくのではないのでしょうか。

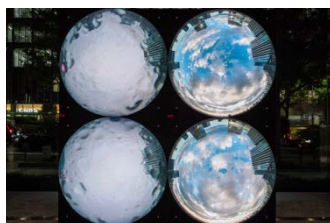
サウンドは、展示空間の外の環境音を取り込み、通常では聞こえるはずのない外部の音が、まるでバーチャルな窓が開くようにして聞こえてきたり、また、窓が閉まるにつれて聞こえなくなったりするように緩やかな変化を繰り返し、そこには存在しない「窓」の存在がサウンドによって感覚的に描き出されます。

## 作品の見どころ



### 変化し続けるメディアアート

大型のLEDディスプレイを主軸とするハードウェアに入力される映像や音の情報ソースを更新し続けることで、作品を常に新しい状態を保つ。時間とともに変化し続けるメディアアート。



### 全天で見せる東京の空

ミュージアムタワー京橋の屋上部、地上 150 メートル地点に新設したライブカメラが捉える東京の空の姿が作品に加わることで、鑑賞者の現在地を大自然の一端と感じさせるような視座を創出。



### オフィスビルを再発見するサウンドスケープ

ビルに伝わる環境音を作品のサウンドとしてリアルタイムに生成。本来は存在しない“バーチャルな窓”から届くサウンドは、緩やかに変化を繰り返し、東京という現在地を感覚的に描き出す。

## 展示概要

展示場所：ミュージアムタワー京橋 1 階 オフィスエントランスロビー

展示期間：2025 年 11 月 1 日（土）～ \*

開館時間：10:00 ～ 19:00

入場料：無料

\* 休館日：2025 年 12 月 28 日（日）～ 2026 年 1 月 3 日（土）

## アーティストプロフィール

### Dumb Type (ダムタイプ)

ヴィジュアル・アート、建築、コンピューター・プログラム、音楽、映像、ダンス、デザインなど多様な分野の複数のアーティストによって構成されるグループ。1984年に京都で結成以来、集団による共同制作の可能性を探る独自の活動を続ける。美術、演劇、ダンスといった既成のジャンルにとらわれず、あらゆる表現の形態を横断するその活動はプロジェクトごとに作品制作に参加するメンバーが変化するなど緩やかなコラボレーションによって、現代社会におけるさまざまな問題への言及をはらむ作品を制作し、多くの作品が世界中で上演されている。第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館展示（2022年）他。

[dumbtype.com](http://dumbtype.com)

## WORK with ART プロジェクト



創造力を呼び覚ます。

理性だけでは乗り越えられない壁がある。

感性だけでは突破できないことがある。

理性と感性が共存し、響き合う。

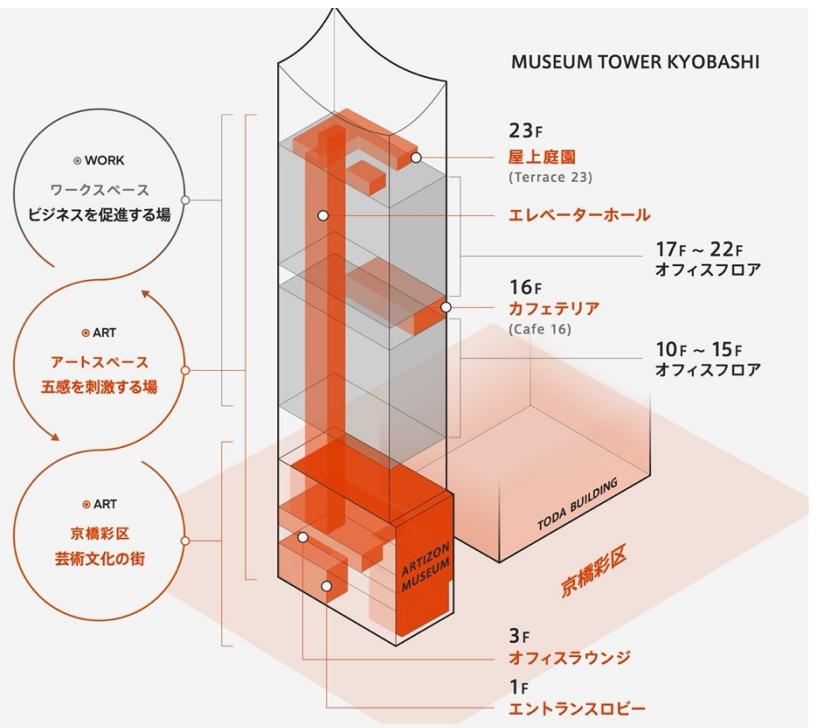
このビルは、想像力に満ちている。

2024年11月にミュージアムタワー京橋が始動した「WORK with ART プロジェクト」は、アート（以下「ART」）を単なる鑑賞物としてではなく、五感を刺激する体験と捉え、創造的な働き方とオフィス環境を提供する多角的な取り組みです。

初年度には、気鋭のクリエイターとの協働により、1階オフィスエントランスロビーから3階オフィスラウンジにかけての共用部のリニューアルを実施。都市にしながら自然や世界とのつながりを感じられる空間づくりに取り組むとともに、ビジネスパーソンが芸術文化に触れる体験イベントを実施しました。

本プロジェクトではWORKとARTが共存する状態を「CREATIVE VORTEX（創造の渦）」と位置付け、組織やビジネスパーソンの創造性を高める、未来のオフィスビルのあり方を提案してまいります。

# WORK with ART 創造力を呼び覚ます。



## WORK with ART プロジェクト

公式ウェブサイト：[work-with-art.museumtower-kyobashi.com](http://work-with-art.museumtower-kyobashi.com)

公式Youtubeチャンネル：[youtube.com/@WORK-with-ART](https://youtube.com/@WORK-with-ART)

## ミュージアムタワー京橋

公式ウェブサイト：[museumtower-kyobashi.com](http://museumtower-kyobashi.com)